

BPW社製オートマチックスラックアジャスターの機能点検手順

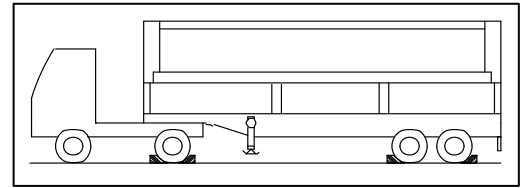
2014年10月1日

日本トレクス株式会社サービス部

弊社製造のトレーラに装着のBPW社製オートマチックスラックアジャスターの機能確認は下記の手順に従って実施してください。詳細は「BPW軸 整備要領書」を参照してください。

1. トレーラおよびトラクタの固定

- 1) トレーラとトラクタを連結して平坦な場所に置く。
- 2) 車輪止めをして動かないように固定する。



2. 点検

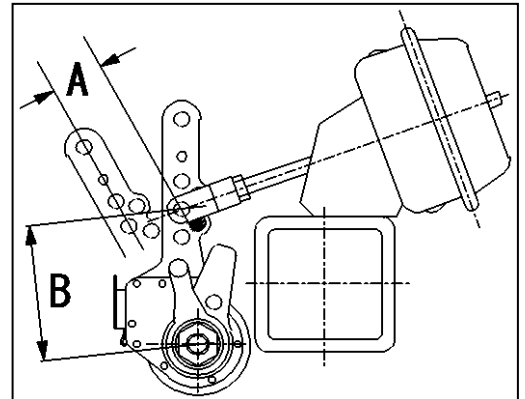
1) 外観点検

- ・亀裂、部品の脱落、破損などの有無の確認。

2) チャンバーストロークの点検

- ・ブレーキを数回作動させストローク:Aを確認する。
- ・チャンバーストローク:Aがレバー長:Bの10~20%の範囲にあることを確認する。
(例:B=150mmの場合 A=15~18mm)

※ストロークが範囲内にある。(正常)

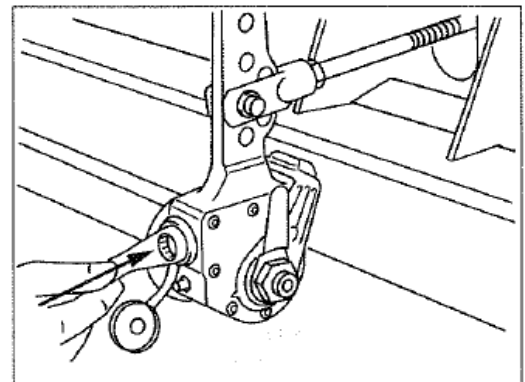


3) 調整スクリュー動作点検

- ・ボックススパナで調整スクリューを押して(矢印方向)回すとスラックアジャスターが前後に動く。(正常)

※下記の場合は故障と考えられる。

- ① 調整スクリューを回してもスラックアジャスターが動かない。
- ② 調整スクリューの回転が重く、トルクが17N・mを超えるとき。
- ③ 調整スクリューの回転が異常に軽いとき。

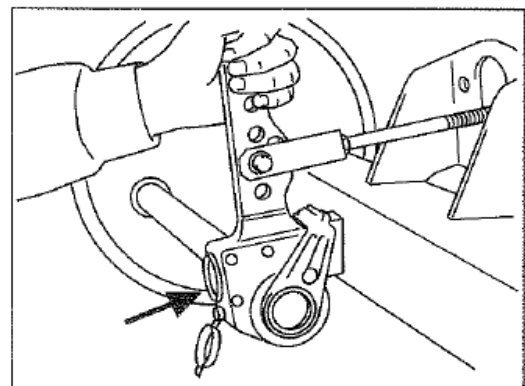


4) 自動調整機能の点検

- ・ブレーキをすべて解除する。
- ・調整スクリュー(矢印)を反時計方向に2/3回転程度回す。(ライニングとドラムの隙間を広げる。)
- ・スラックアジャスターを手で作動させて下記の機能を確認する。

- ① カチカチという調整音がる。(正常)
- ② 調整スクリューが作動のたびに時計方向にわずかに回転する。(正常)

※機能が確認されない場合は故障と考えられる。



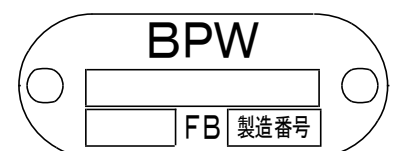
5) 故障と認められたスラックアジャスターは新品に交換する。



6) 「BPW軸 整備要領書」に従ってブレーキ調整を実施する。

7) チャンバーの製造番号を確認して記録簿に記入する。

(製造番号は右図を参照)



以上